

福知山公立大学 2023 年度入学式 式辞

本日、福知山公立大学に入学されました地域経営学部地域経営学科79名、医療福祉経営学科25名、情報学部105名、編入学の地域経営学部地域経営学科6名、情報学部1名、計216名のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職員を代表して、皆さまに歓迎の意を表します。また、これまでご子息・ご息女を育てこられたご家族・ご親族のみなさまにも心よりお慶びを申し上げます。本日は、福知山市長大橋一夫様に来賓としておいでいただき深く感謝申し上げます。また、本年は保護者の方々にご参加いただくことができました。2020年度には入学式そのものを中止にせざるをえませんでしたので、このように通常の入学式を挙げるのは4年ぶりということになり、たいへん喜んでおります。

入学式を通常のように行えなかったのは、言うまでもなく、2020年1月頃から蔓延しはじめた新型コロナウイルスのためでした。このウィルスのために、みなさんが高校生としての学園生活だけでなく生活全般において極めて多くの制約・不自由のもとに過ごされてきたこととなります。やむを得なかったこととはいえ、高校生という重要な時期をウィルスとともに過ごさねばならなかったことは、本当に不運なことでした。やってみたいことができなかったという悔しさを抱いておられるに違いないと思います。

現在、そのウィルスは完全に終息したとはいえませんが、社会生活の公的な制約は相当に緩和されました。その時期にこうして本学に入学されたみなさんは、大学の「自由」というものへの期待が大きいことだと思います。高等学校までとはちがって、大学という教育組織にとって自由が本質的に重要であるのは、そのとおりです。入学された学部・学科によって学ぶべき必修科目は定められてはいますが、それ以外に何を学ぶのかは基本的には学生である皆さんの自由な決定に委ねられています。これは正規のカリキュラムにおける自由のことですが、大学での学びと皆さん一人一人の大学での成長は、正規のカリキュラムによるものだけではありません。サークル活動やボランティア活動、さらにはアルバイトであっても、それらは皆さんの学び・成長を促すものです。また、本学は福知山市を中心とした北近畿地域の発展につながるような「地域協働型教育」を掲げているので、正課の内と外とで、皆さんは地域のさまざまな人々と触れ合い、ともに活動するような機会も得られることとなります。本学の正規のカリキュラムとそれ以外の活動をどのように、どれくらいの割合として組み立てて大学生活を送るのかを決めるのも、皆さんお一人お一人なのです。

本学は、新型コロナウイルスを経てきた皆さんの大学の「自由」への期待に応えていきますし、そのような自由を前提とした皆さんの活動と成長をサポートしていくことをお約束いたします。ただ、これから皆さんが本学での大学生活をはじめるとあって、私はただ一つのことを申し上げておきたいと思います。それは、大学での学びは皆さん一人ひとりが持っている殻を打ち破るためであるということです。

私たち人間はその時々までの経験内容と得てきた知識を前提にして生きているわけですが、その経験と知識は一人ひとりで異なっているし、偏りがある。たとえば、私たちは社会とはこんなつまらないものだとか、あの人はこんな嫌な人なのだといった十分な根拠のない断定・思い込みをしがちです。いわば「色眼鏡」をかけて生きている。そして、そのような価値判断だけではなく、皆さんがたとえば経済学に関心をもっているとか、データベースに興味があるとしたら、自分の中で自然に沸き起こってくるそのような興味・関心というものも色眼鏡なのです。逆に、法律学にはどうしても馴染めないと感じてしまうとしたら、それもまた色眼鏡、偏りなのです。「色眼鏡」という言葉は否定的なニュアンスが強すぎるとすれば、ものを見るときに準拠枠といってもいいでしょう。そして、私たちはこのような色眼鏡をかけていることに自分ではなかなか気づかないし、自覚しにくいものなのです。大学で学び成長するということは、自分が色眼鏡をかけているという自覚を持てるようになり色眼鏡を外そうとすること、つまりものを見る準拠枠を広げ多様にすることです。本学は小規模な大学ですので先生方の専門領域の広がり大きいとは言えませんが、それでも多様な分野の学問に触れることができます。

特に強調しておきたいのは、本学は小さいながらも地域経営学部と情報学部といういわゆる「文系と理系」の学部を両方持っているということです。文系・理系という区別は重要な区別ではありません。学問は最終的には人間が幸せに生きていくためにあるのですから、その目的との関係では理系も文系も同じです。さらには、たとえば福知山の防災の問題から世界のエネルギー問題や食糧問題まで、人間が幸せに生きていくために直面している課題のほとんどは、どちらかの学問分野だけでは解決できないものです。皆さんはどちらかの学部に入學されて卒業されることになるのですが、隣りにある学部の学問にも関心を向けてほしいと思います。そうすることが可能な本学の「自由」を利用して、自分が自然に持ってしまっている関心を超えようとする、つまり自分の色眼鏡を少しでも外してみようとする努力をされることを期待したいと思います。

私は、人間が大人になるということは自分が色眼鏡をかけていることを自覚できるようになり、必要な時には他人の色眼鏡をかけて世界を見てみるができるようになることなのだろうと思います。まだ若く薄い色の色眼鏡しかかけていない皆さんが、本学の学びによってそのような大人として成長されることを願っておりますし、すでに色の濃い色眼鏡をかけているかもしれない教職員も皆さんとともに成長したいとも願っています。

本日はご入学誠におめでとうございました。ともに新しい歩みを始めましょう。

2023年4月3日

福知山公立大学長 川添 信介